

令和3年度 東中田小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

- ・日々の生活指導やたてわり活動、道徳教育を通じて、相手を尊重し思いやる心情を育てる。
- ・相手意識をもって、進んで気持ちのよい挨拶ができるように力を入れていく。
- ・「東中田スタンダード」や「いのちの学習」といった独自の取組を進めていく。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

- ・子どもたちは素直で、学校生活も穏やかに過ごしている。その一方、まずは自分の思いをしっかりとつことや相手の気持ちを考えた上で思いを伝えることに課題がある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

＜目標＞・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。

- ・コミュニケーション能力や共感的な態度を育むために、学級活動の充実を図る。
- ・ペア学年での活動等を工夫し、異学年集団を通し、思いやりの心や協力する心を育む。
- ・「東中田スタンダード」や「いのちの学習」といった独自の取組を進める。
- ・家庭や地域との連携をとり、様々な人と豊かに関わることでコミュニケーション能力を培う。

＜指針1＞「道徳教育の充実」

- 「特別の教科 道徳科」を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多用に広げ、自己を見つめ、よりよく生きていこうとする道徳的実践力を身に付けるようにする。
(視点1)・全学級の道徳の授業を家庭・地域に年に1回以上公開する(市の方針による)。
 - ・道徳教育について、学校だより、学年だより、懇談会などを通じて、家庭や地域に発信し、共通理解を図りながら、連携をとって指導にあたる。

＜指針2＞「いのち学習の充実」

- 特別活動等で、自分の心や体の成長を見つめ、様々な人とかかわる体験を重ねることにより、互いに思いやり助け合う態度を育て、自他のいのちを大切にし、自己肯定感を高める教育活動を実践する。
(視点2)・年間計画を保護者に伝えると共に見通しをもった活動を行う。
 - ・学習を通して、児童一人ひとりが自他の生命の尊さを感じ、自分らしさに気づく機会となるよう行っていく。

＜指針3＞「体験活動の充実」

- 望ましい集団活動を通して、よりよい生活や人間関係を築いていこうとする自主的・実践的態도를育てていく。
(視点3)・年間計画のもと、集会や休み時間の活動の中にペア学年での取り組み等行っていく。
 - ・高学年のリーダー会議を設け、異学年集団との活動を通して、自主的・実践的に活動を行えるよう指導にあたる。